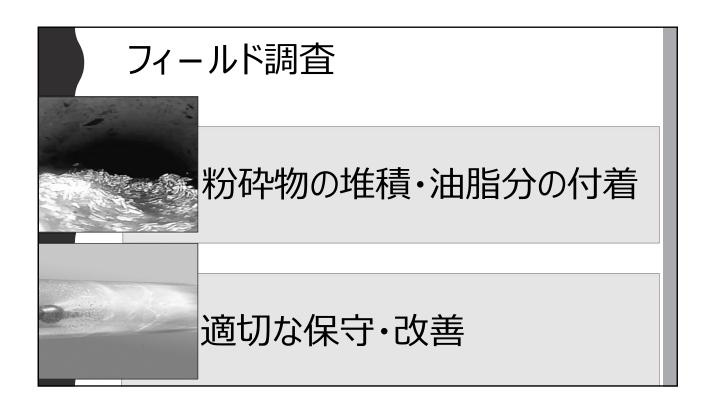
ディスポーザ排水処理システムの 粉砕物堆積状況報告 及び効果的清掃方法

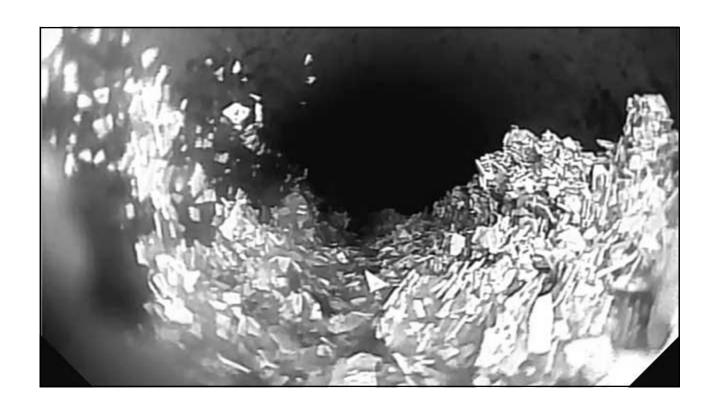
(一社)全国管洗浄協会

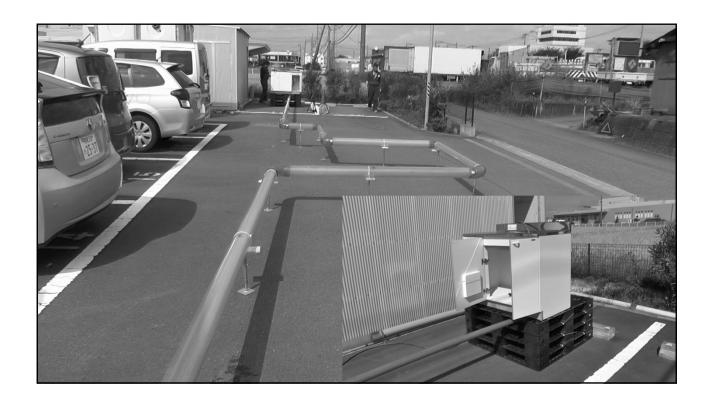
当システムを構成する3部位 ディスポーザ部 排水配管部 排水処理部

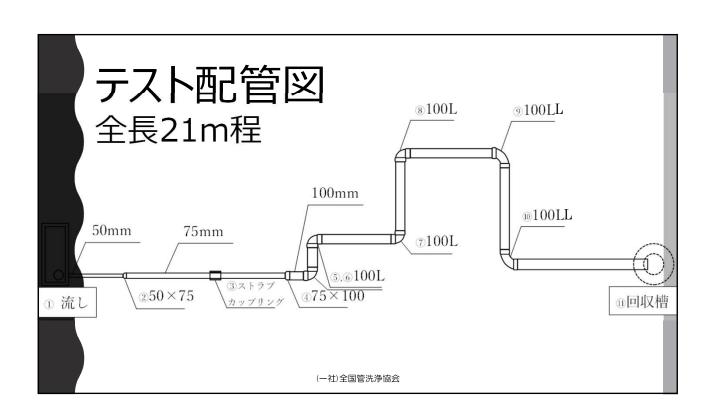


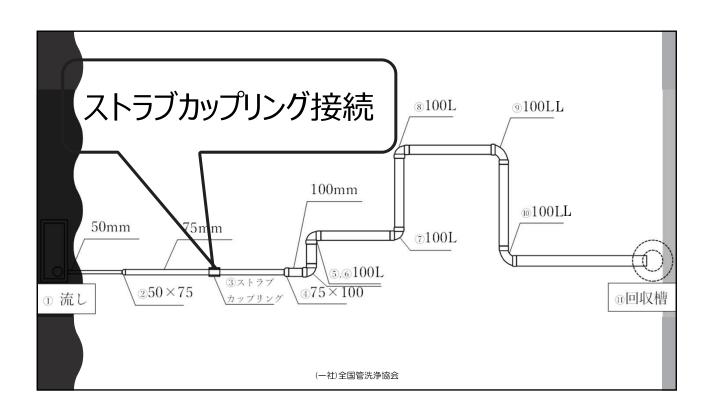


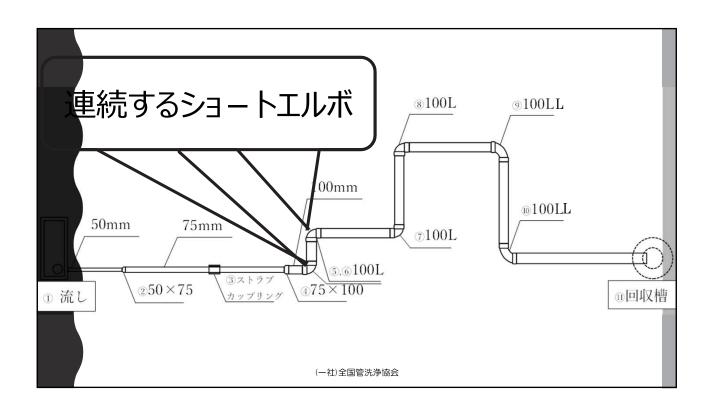


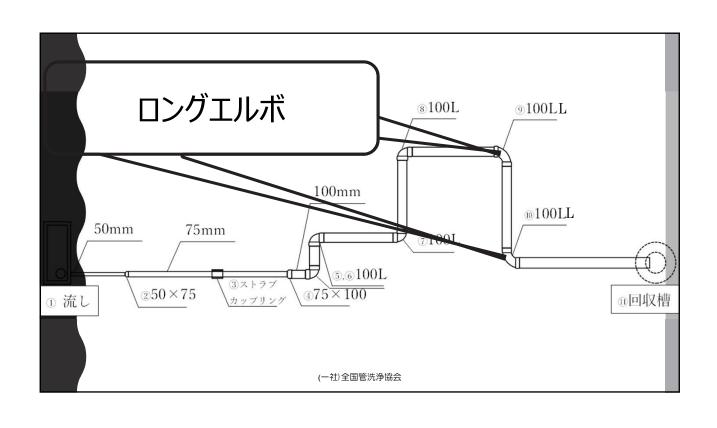
















排水実験 (結果)

粉砕物の多くが管内に残留した

全粉砕物量 7750g

平均6.3g 合計194.3g

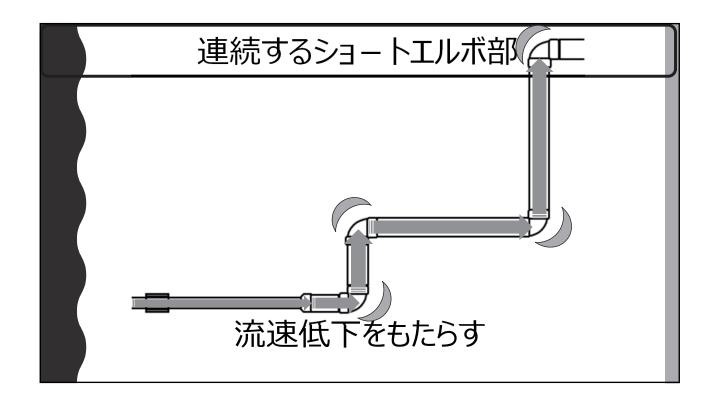
管内残留量

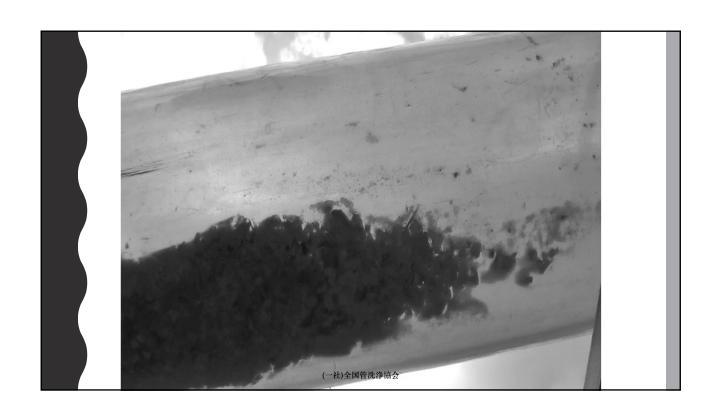
残渣7555.7g

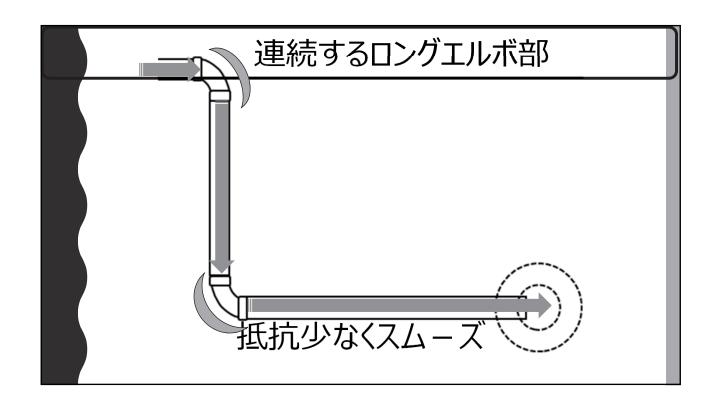
約97%が管内に残留

ストラブカップリング接続部 ストラブカップリング接続の僅かな隙間により 水流が乱れて堆積



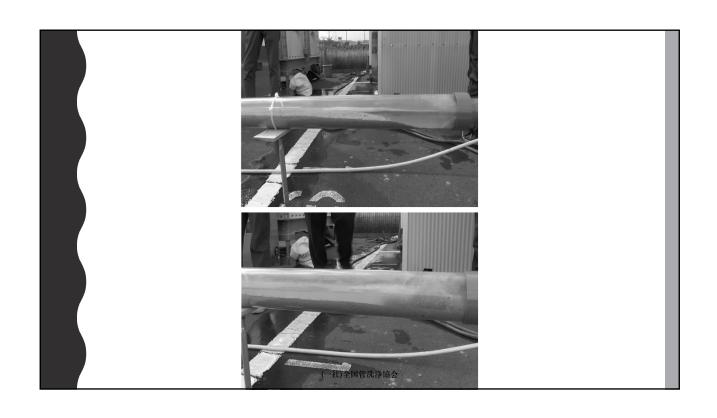








洗浄実験高圧洗浄による堆積した粉砕物除去洗浄機元圧
15Mpa手元圧8Mpaノズル・ホース後方噴射ノズル内径4.8mm回転ノズル内径4.8mm



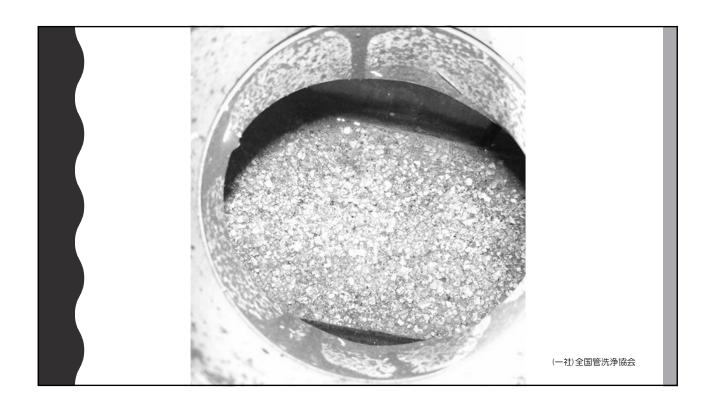


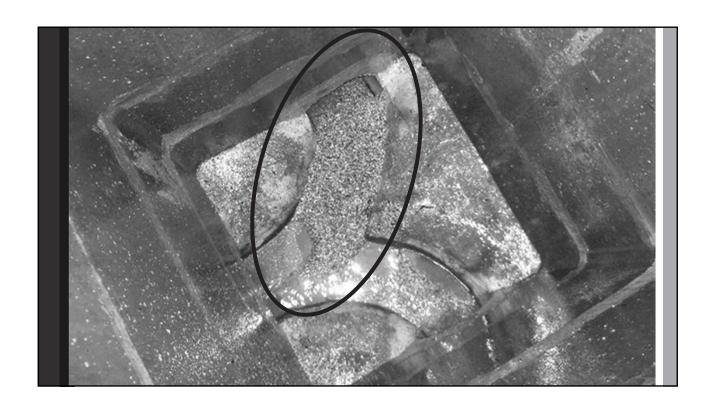
シンク一杯溜め流し

フィールド調査

定期清掃・初回清掃時の状況東京築9年1回/年神奈川築10年2回/年埼玉築1年初回

















フィールド調査 (結果)

排水配管部では粉砕物完全搬送は容易でない

- □上流側からの洗浄では搬送困難
- □清掃に有効な掃除口・回収桝必要
- ▶ 直投式・サイフォン式等、新たなシステムにも 適切な保守を

(一社)全国管洗浄協会

まとめ

当システムには保守が不可欠となる

- ・ 搬送性能UP部材
- 高圧洗浄の逆噴射作用が機能する、 効果的な掃除口・点検口の設置
- 点検→現場ごとの清掃周期計画

ディスポーザ排水配管における 管洗浄実験

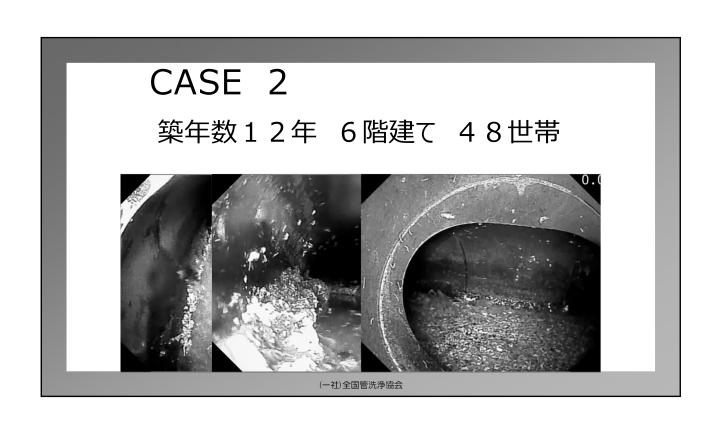
(一社)全国管洗净協会

ディスポーザ生ごみ処理システム

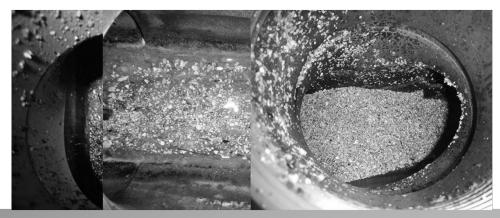


- ●破砕残渣物が堆積 する
- ●排水不良・管閉塞
- ●高圧洗浄による有効 な清掃方法を検討



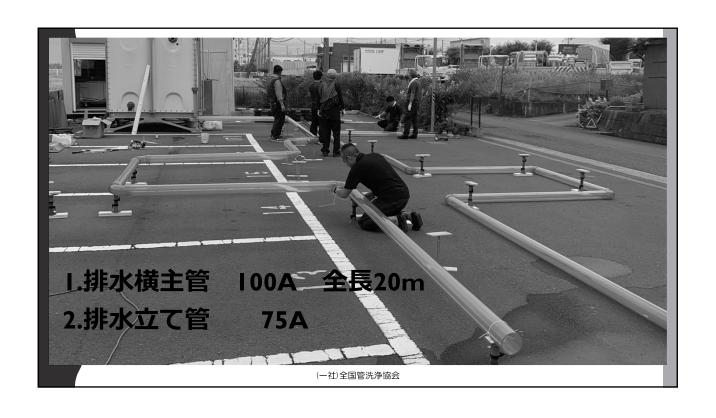


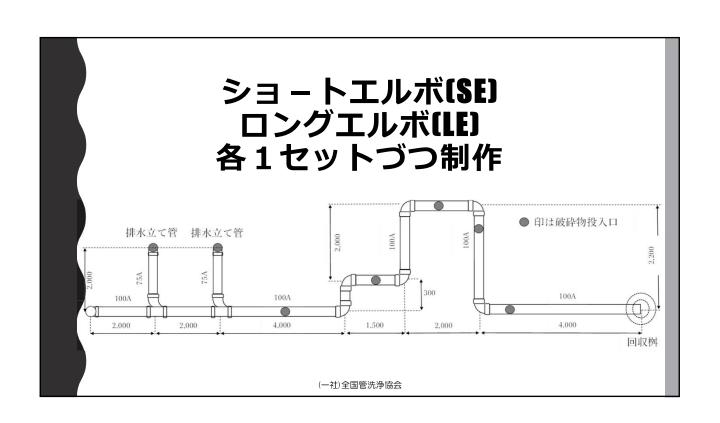
CASE 3築年数11年 7階建て 57世帯



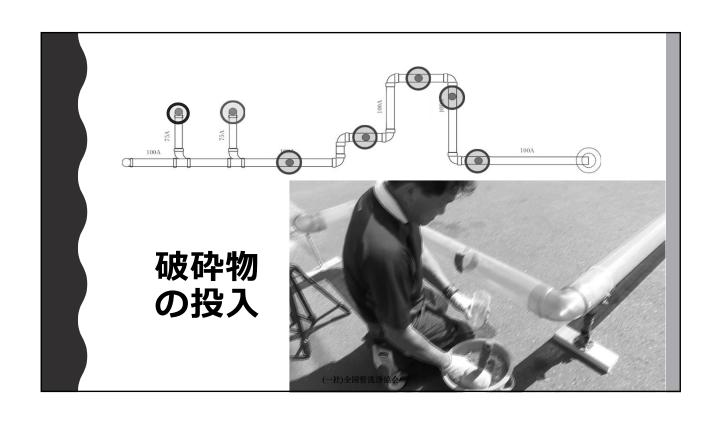
(一社)全国管洗浄協会

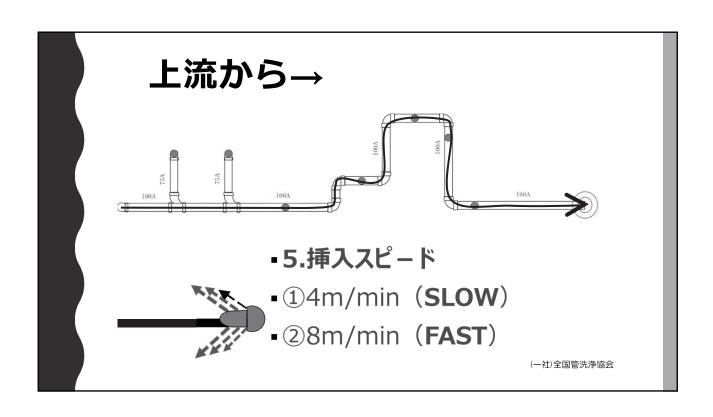


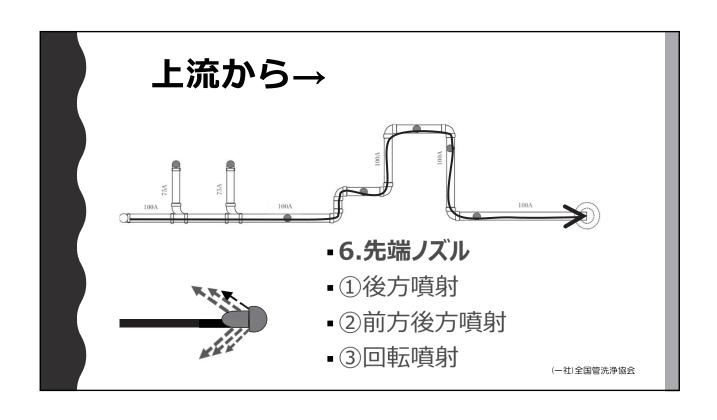


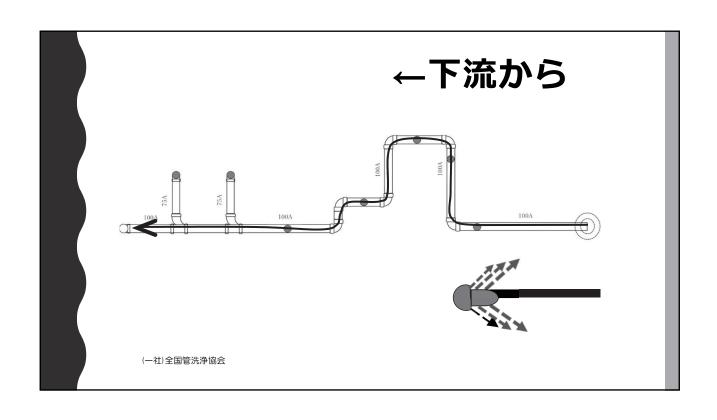


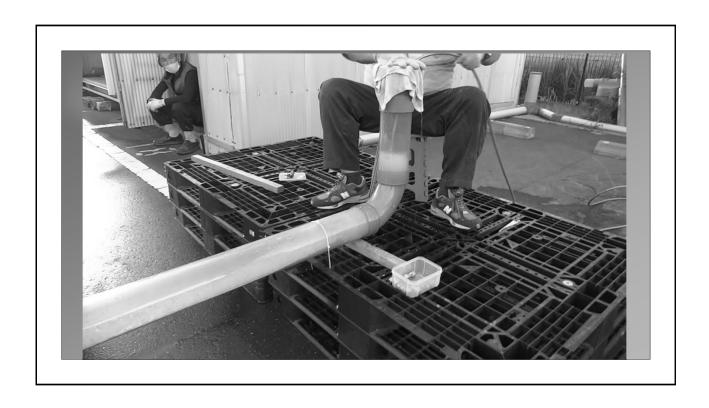
3.洗浄対象物 卵殻を含む実破砕物 (重量:7kg) 停滞・堆積し易い箇所 (5か所に分散)

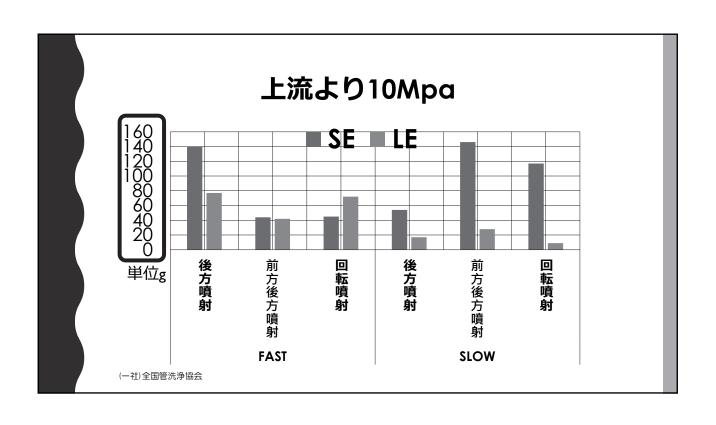


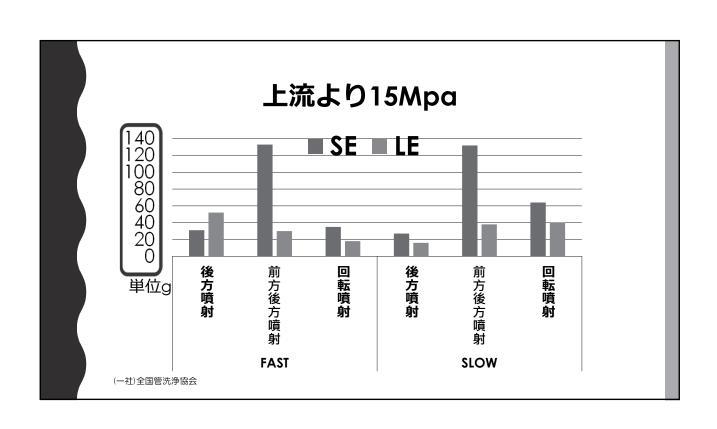












上流側からの洗浄

- 破砕卵殻は 攪拌されるのみ
- □ 卵殻は即座 に沈殿する
- □ 含まれるその 他の厨芥物が 排出する

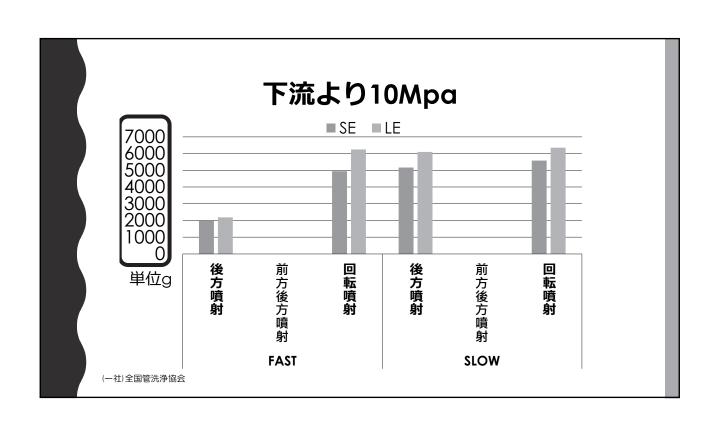


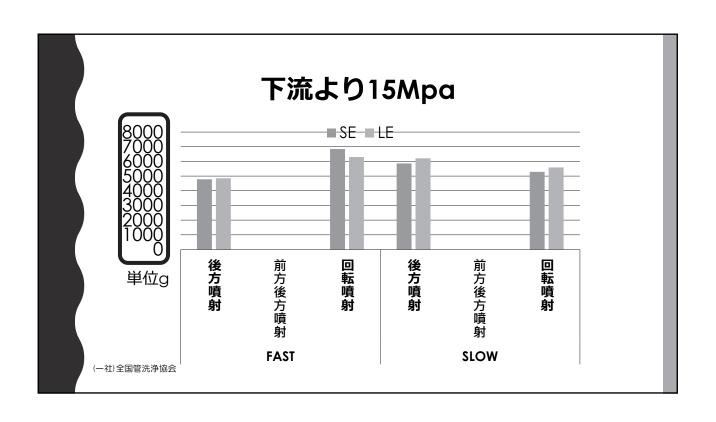
(一社)全国管洗浄協会

上流側からの洗浄

- □ SE、LEとの差は
- ・洗浄性能については殆ど差異は無い







下流側からの洗浄

- 破砕卵殻は 円滑に搬送される
- 10Mpaより 15Mpaの方が 回収重量が大きい



□ 下流からの洗浄は後方噴射・回転噴射の 採用が有効

下流側からの洗浄

ロ SEに比べ、LEの挿入性能は遥かに高い

(一社)全国管洗浄協会

排水立て管接続部の状況

- □ 立て管と横主管の接続間では破砕物が残存
- □ 横主管からの洗浄ではこの部内にノズルが 侵入しな
- □ 各系統ごと洗浄 可能な設備が 必要

逆流の発生

(一社)全国管洗浄協会

- ✓SEとLEの洗浄性能には殆ど差はない
- √しかし、挿入抵抗が小さく、挿入性能に優れているLEの採用が望ましい
- ✓下流側からの洗浄が有効、
- ✓後方噴射・回転噴射ノズルが優れている

- ✓重力式排水→円滑に搬送出来ない
- ✓ 堆積が進行→より短い周期での 定期清掃が必要
- ✓ 今後、掃除口の適切な設置位置と数について検討していく

(一社)全国管洗浄協会

ご清聴ありがとう ございました